



厚生労働省北海道労働局発表
平成28年7月19日

【担当】

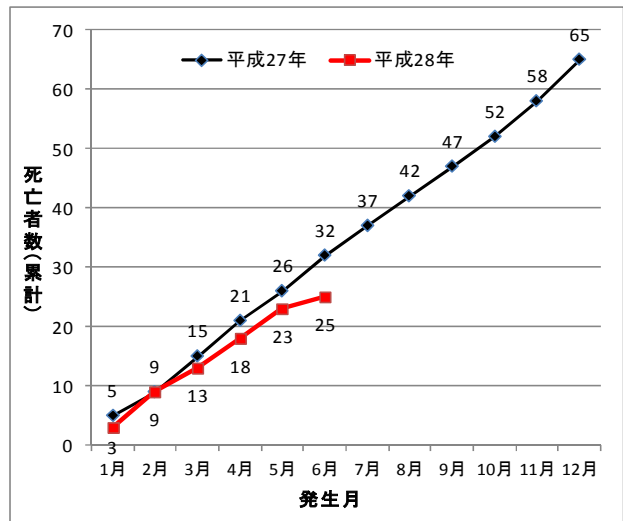
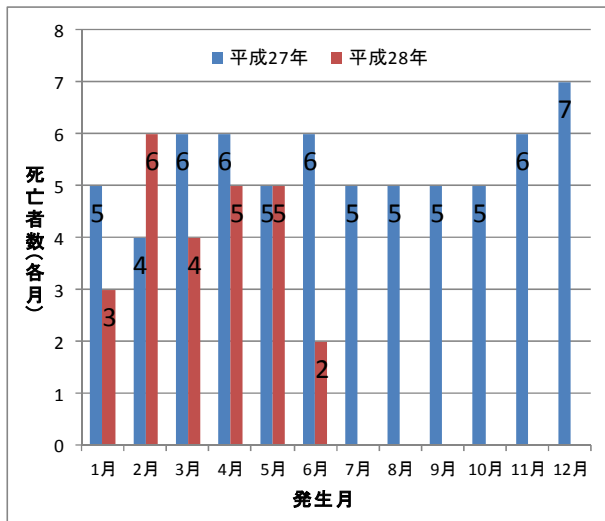
北海道労働局労働基準部安全課
課長 工藤 英司
安全専門官 渡邊 哲也
電話：011-709-2311（内3557）
FAX：011-756-0056

死亡労働災害は前年同期比7人減少 死傷労働災害は前年同期比2.9%減少

— 平成28年の北海道内の労働災害発生状況（平成28年6月末現在速報値） —

1 労働災害による死亡者数（1月～6月）

平成28年の道内の労働災害による死亡者数は、平成28年6月末現在速報値で25人と、前年と比べ7人の減少となっています。



（1）業種別の状況【資料1、2】

業種別に見ると、「建設業」が9人（全体の36.0%、前年同期比5人減）、
「製造業」が4人（全体の16.0%、前年同期比2人増）、
「陸上貨物運送事業」が3人（全体の12.0%、前年同期比1人増）、
「林業」が3人（全体の12.0%、前年同期比1人増）となっています。

（2）事故の型別の状況【資料3】

災害を事故の型別で見ると、「墜落・転落」が6人（全体の24.0%）、
「激突され」が5人（全体の20.0%）、
「交通事故」が5人（全体の20.0%）
「はさまれ・巻き込まれ」が3人（全体の12.0%）、
「崩壊・倒壊」が3人（全体の12.0%）となっています。

2 労働災害による死傷者数（1月～6月）

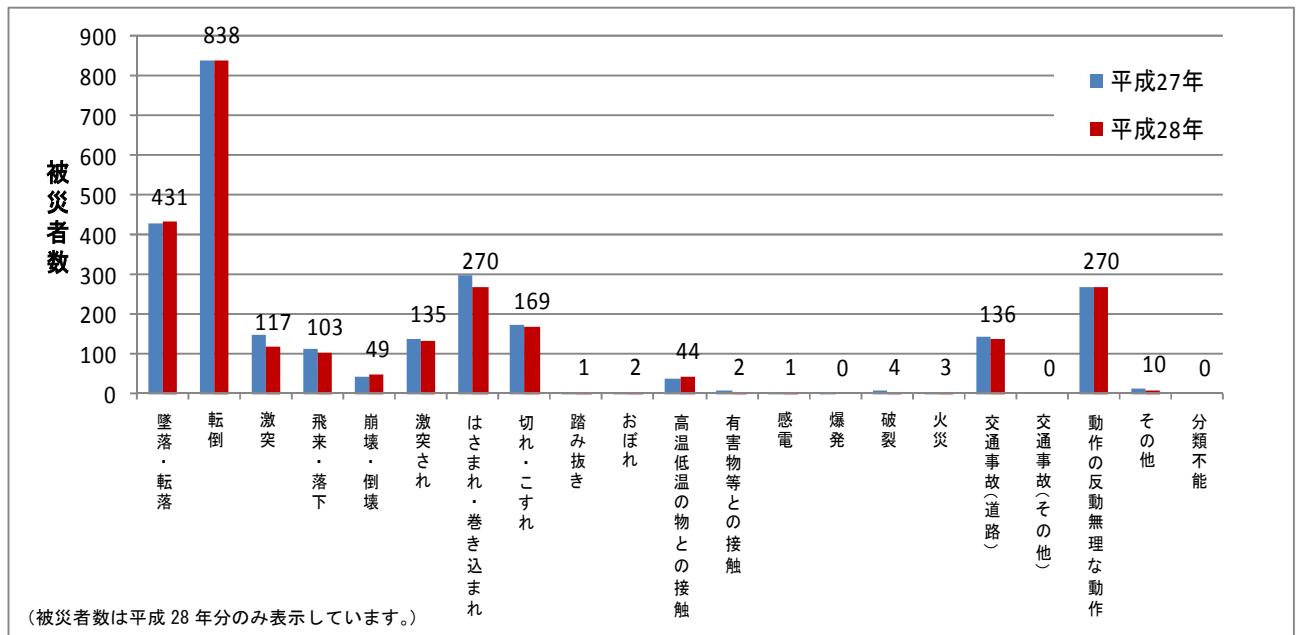
平成28年の道内の労働災害による休業4日以上死傷者数は、平成28年6月末現在で2,585人と、前年同期比77人減（2.9%減）となっています。

（1）業種別の状況【資料4、5】

業種別に見ると、「製造業」が489人（全体の18.9%、前年同期比1人増）と最も多く、次いで「商業」が401人（全体の15.5%、前年同期比20人減）、「建設業」が324人（全体の12.5%、前年同期比31人減）、「陸上貨物運送事業」（道路貨物運送業及び陸上貨物取扱業）が313人（全体の12.1%、前年同期比15人減）の順となっています。

（2）事故の型別の状況【資料6】

災害を事故の型別で見ると、「転倒」が838人（全体の32.4%）と最も多く、次いで「墜落・転落」が431人（全体の16.7%）、「はさまれ、巻き込まれ」と「動作の反動・無理な動作」が270人（全体の10.4%）、「切れ、こすれ」が169人（全体の6.5%）、「交通事故（道路）」が136人（全体の5.3%）となっています。



3 北海道労働局の対応

（1）北海道労働局では、引き続き、事故の型で全体の3割を占める転倒災害を減少させるため、「STOP!転倒災害プロジェクト」により取組を推進しています。

また、建設業の災害防止対策の取組の一つとして、7月12日には木造建築工事現場に対して、全道の労働基準監督署一斉の現場パトロールを実施いたしました。

（2）昨年、北海道においても8月に農業従事者が熱中症により死亡する労働災害が発生しています。今後、暑い季節を迎えることから、リーフレットの配布などにより職場における熱中症防止対策を推進しています。

【添付資料】

- 1 平成28年における死亡災害発生状況[速報]
- 2 平成28年における死亡災害発生状況（その他の事業の内訳）
- 3 平成28年 業種別・事故の型別・起因物別死亡災害発生状況
- 4 業種別労働災害発生状況
- 5 署別・業種別災害発生状況
- 6 平成28年 業種別・事故の型別・起因物別死傷災害発生状況
- 7 死亡労働災害の概要（前月把握分）

（リーフレット）

- 1 熱中症対策は万全ですか？